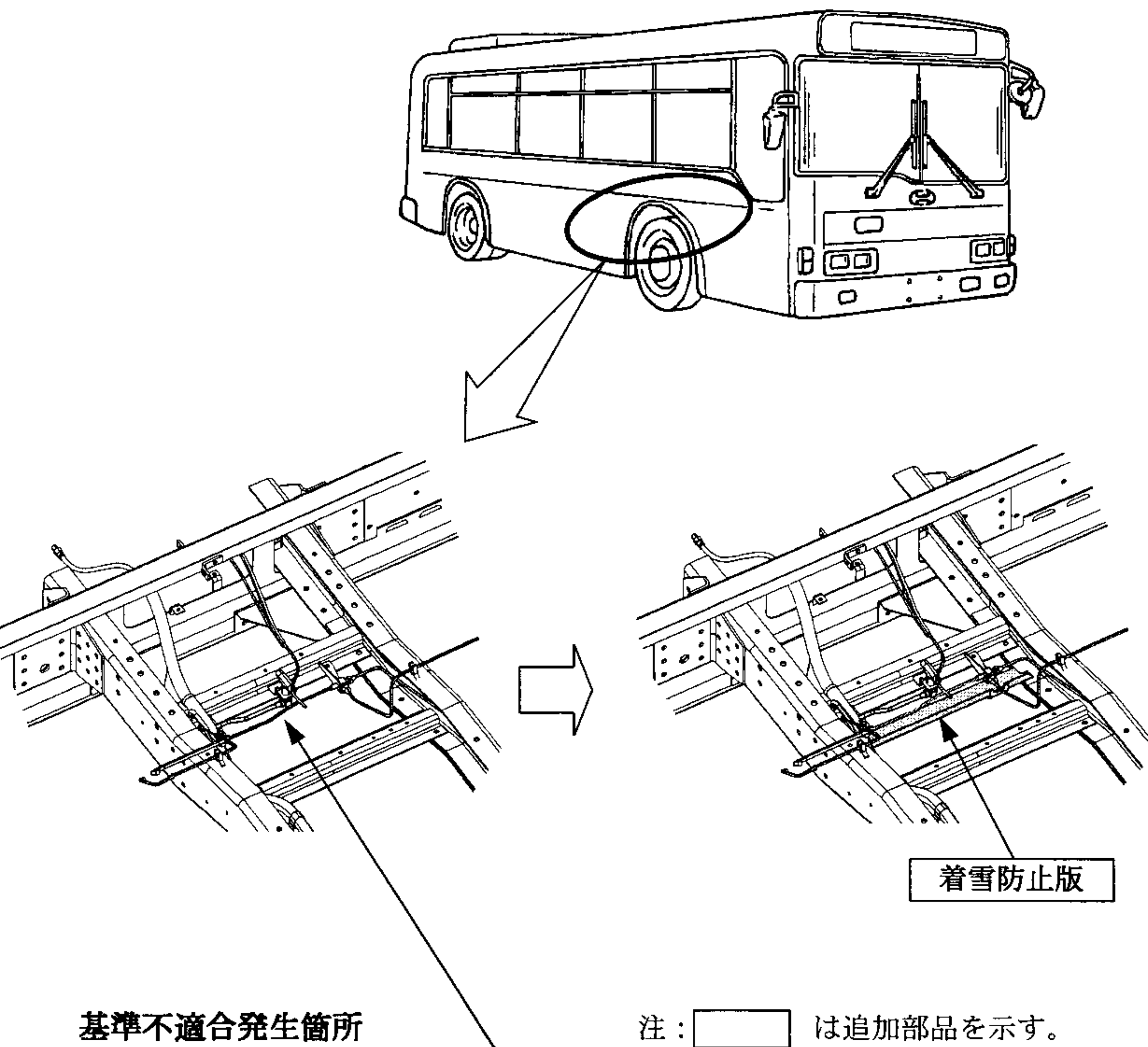


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

注：□ は追加部品を示す。

主制動装置の前輪用配管の取り回しが不適切なため、降雪時、当該配管に着雪して凍結し氷塊となり、更に氷塊が下側に増大して垂れ下がり、走行時に路面等と接触して当該配管に大きな荷重がかかることがある。そのため、当該配管が折損して制動液が漏れ、ブレーキ警告灯が点灯するとともに警報が鳴り、前輪が制動不能となるおそれがある。

改善の内容

全車両、前輪用配管を点検し、損傷のある場合には新品と交換する。

全車両、前輪用配管に着雪防止板を取り付ける。

識別；ネームプレートの右上ビス頭部に黄色のペイントを塗布する。